



三田市民・済生会病院 薬剤科



当院で働く魅力

働きやすい環境で病院薬剤師として
様々な経験を積むことができます！

急性期病院において、チーム医療の一員として多職種と協働し、患者さんに安全な薬物治療を提供することで、病院薬剤師としての使命を果たすことができます。



- プリセプター制度があり、相談がしやすい環境です
- 1年目から幅広い業務につき、知識や技能を習得することができます
- 学会・研修会の参加や認定資格取得のための支援があり、キャリアアップすることができます
- 全国済生会病院薬剤師会の一員にもなり、全国規模のグループを活かした繋がりができます
- 雰囲気がよく、離職率が低い職場です！

新人業務スケジュール

2年目には病棟担当、チーム医療への参加を想定しています



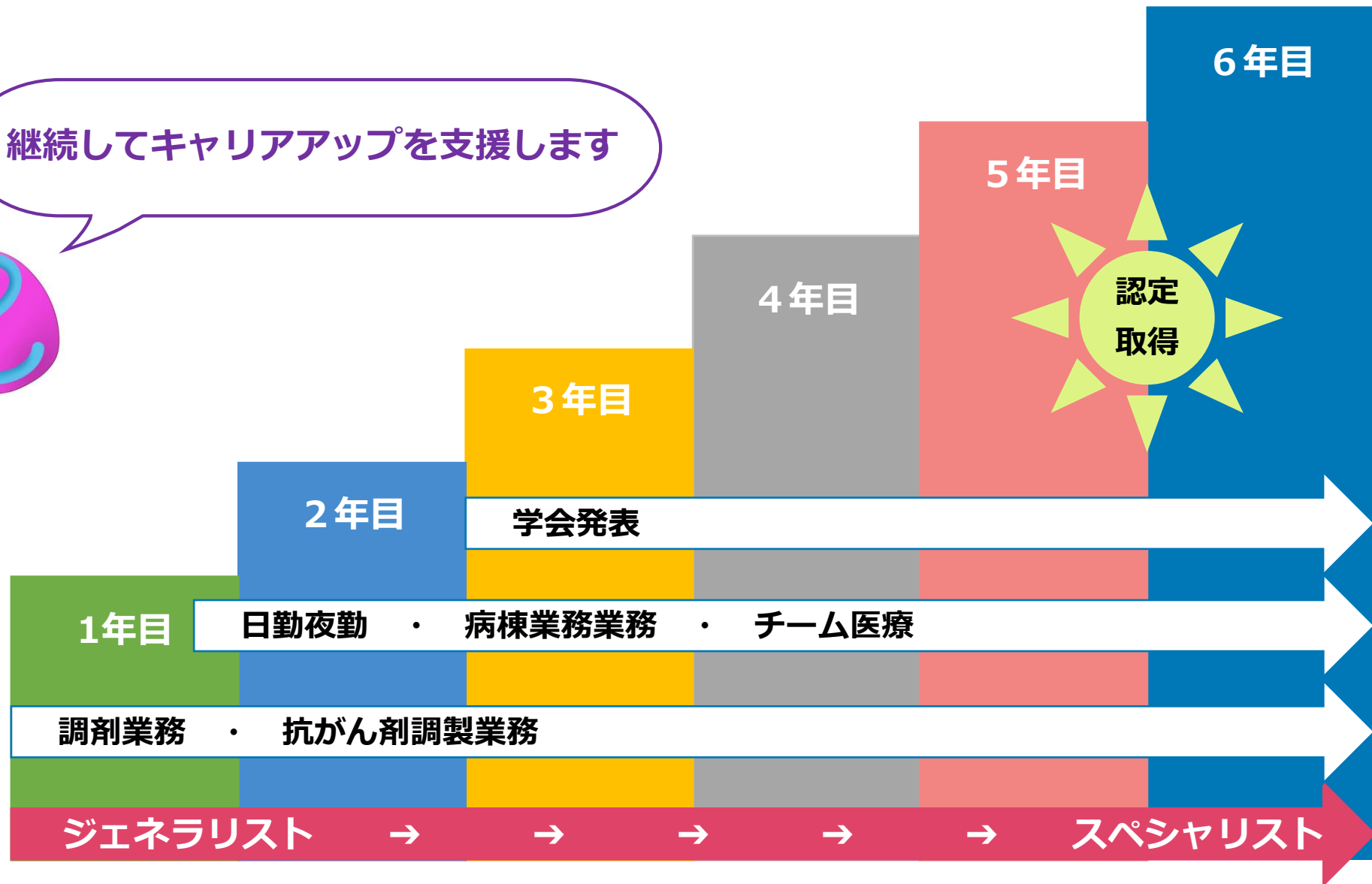
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調剤 (内服・外用)		調剤（注射）		調剤（内服・外用・注射）							
入院・外来鑑別											
			無菌製 剤	抗がん 剤調製	無菌製剤・抗がん剤調製・院内製剤						

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
病棟業務（入院患者の薬物治療管理）											
チーム医療											
地域連携											

当院でのキャリアアップ例



継続してキャリアアップを支援します



済生会兵庫県病院との再編・統合

新病院の基本方針

- すべてのいのちに寄り添い、地域に笑顔と安心を届けます
- 地域とともに高度な医療を提供できる病院づくりを推進します



■ 敷地北西から見たイメージ

設計のコンセプト

周辺地域と共生し、安全・安心のランドマークとして、親しまれる病院

1 強固な急性期医療の拠点づくり ● 集中治療室の整備 ● ワンフロアで緊小児・周産期医療 ● 人材を育てる教育研修環境の整備	2 すべての人が利用しやすい、働きやすい施設づくり ● 誰でも分かりやすいフロア構成 ● ロボットを活用した搬送計画 ● スタッフ動線を効率化する部門配置	3 災害に強い病院づくり ● 地震に強い免震構造の採用 ● 自家発電設備等のライフライン確保 ● 臨時ヘリポートの設置
4 感染症に備えた安心の施設づくり ● 感染症に備えた全室個室 ● 感染エリアの隔離が可能な設計	5 里山の景観に調和する病院づくり ● 既存の里山を残し、周辺環境を保全 ● 低層化した病棟	6 環境に配慮した持続性の高い施設づくり ● 省エネルギー化による環境負荷軽減 ● 施設の生涯にわたる総費用の最適化

計画概要

敷地概要・都市計画等		建物概要		病院概要	
所在地	神戸市北区長尾町宅原3850番地 他	主要用途	病院	診療科数	35診療科
敷地面積	72,400㎡	建築面積	10,710㎡	病床数	一般病床 400床 集中治療室 25床 (ICU 6床) (HCU 10床) (NICU 9床) 合計 425床
区域区分	市街化調整区域、一部農用地区域	延床面積	40,790㎡	手術室	10室
建築率	60%	高さ	29m		
容積率	100%	階数	地上6階		
前面道路	東側：市道長尾宅原10号線 西側：市道北神中央線 北側：市道宅原線	構造	鉄骨造(免震)		
		駐車場	1,260台		
		駐輪場	125台		
		附属建物	院内保育所 他		

配置・動線計画

配置図

- 南北に長い敷地形状を活かし、南側から
 - ・里山を保全した森林
 - ・職員駐車場
 - ・院内保育所
 - ・病院本棟
 - ・来院者駐車場
 を配置する計画とします。
- 6階建ての病院本棟を敷地中央に配置し、周囲と調和した景観を創出します。

03.周辺になじむ病院本棟

病棟部分を“井の字型”の形状とすることで、建物の圧迫感の軽減を図るとともに、外壁は、周辺の緑になじむアースカラーを基調とした配色とします。

04.新病院の主出入口

敷地の主出入口は、北側道路に面する敷地の北東部に設けます。



薬剤のロボット搬送を
想定しています





薬剤科の概要

アシスタントへの
タスクシフトも進めています

人員

常勤薬剤師：18名
非常勤薬剤師：5名
アシスタント：6名

人員配置

調剤・持参薬業務：4名
注射・製剤業務：3名
抗がん剤・TPN調製：1名
外来指導（抗がん剤）：1名
医薬品情報：1名
病棟業務：6名



勤務体系

2交代制

日勤：8時30分～17時
夜勤：16時30分～翌9時

※夜間・休日

17時～翌8時30分までは
基本的に1人体制

薬剤科の主な業務

今後は手術室や救急外来への
業務拡大も検討しています！



- 調剤
- ユニットドーズ
- 持参薬鑑別
- 注射調剤
- 抗がん剤・TPN無菌調製
- がん化学療法患者の外来指導
- 薬品管理
- 医薬品情報管理
- 病棟業務及び薬剤管理指導
- 院内製剤
- チーム医療
- 地域連携

調剤業務

医師の処方せんに基づき、以下を行います。



- ① 処方監査（処方薬、用法用量、飲み合わせ等に問題がないかを確認）
- ② 計数調剤（錠剤、散薬、水薬、外用薬を正確に取りそろえる）
- ③ 調剤鑑査（調剤された内容に間違いがないか最終チェックを行う）

採用薬品数：約1000品目

Right
patient



Right
drug



Right
purpose



Right
dose



Right
route



Right
time

機器を用いたより正確な計数調剤

システムを活用して
医療安全に取り組んでいます

① ピッキングサポートシステム

処方せんや注射せんに印字されたバーコード
と薬品のバーコードを照合。



② 鑑査支援機能付き全自動錠剤分包機

内部の高性能カメラで分包前に薬品を直接
撮影し、刻印や色調、形状、直径を分析。
その結果を見やすい鑑査画面にて確認。



ユニットドーズ

◆ 1回服用分ごとにカートにセット

対象患者：内服薬を病棟管理している患者

対象薬剤：定期薬・臨時薬・持参薬

対象期間：各病棟の定期薬服用期間毎



- 院内処方薬と持参薬の重複投与や相互作用チェック
- 看護師さんの業務負担軽減、リスク軽減

持参薬鑑別（入院）

安全に手術などが受けられるよう
確認しています

入院された患者さんの使用薬剤を確認
入院目的に応じて、休薬該当薬などを確認



テスト病棟		526号室	持参薬鑑別報告		2026/03/05 19:16:53
99990008		770 99990008	昭和52年1月1日 (49歳)		報告日 2026/02/27(0001)
テスト 99990008 様		172.0cm / 50.0kg / 1.58m	鑑別者 テスト 薬剤師		監査者 テスト 薬剤師
【休薬該当薬】 バイアスピリン エフィエント 【免疫抑制作用をもつ生物学的製剤】 なし 【お薬手帳等には記載があるが、持参されていない薬剤】 デヒドロ錠5mg 1T/瓶前 【術後の発症に与える可能性のある薬剤の使用】 無 【処方された施設】 当院 循環器内科					
1		バ[®]イ[®]ス[®]リン錠 100mg【妊禁】 一般名 アスピリン 100mg 腸溶錠 薬効薬理 血小板凝集抑制薬 M122薬分類 血液凝固阻止剤（内服薬に属する。） 採用 本体コード 表:BA~100 色 白	起床時 朝 昼 夕 就寝時 - 1 - - -	1日1錠	分1 朝食後 21日分
2		3.75mg/124I[®]錠 一般名 プラスレル塩酸塩錠 薬効薬理 血小板凝集抑制薬 M122薬分類 血液凝固阻止剤（内服薬に属する。） 採用 本体コード 表:BA~124I~3.75 色 微赤白	起床時 朝 昼 夕 就寝時 - 1 - - -	1日1錠	分1 朝食後 21日分
3		(非採)D[®]ス[®]ス[®]錠2.5mg【DSEPI】 一般名 D [®] ス [®] ス [®] 錠2.5mg 錠 薬効薬理 悪性血腫薬【HMG-C o A還元酵素阻害剤】 M122薬分類 血液凝固阻止剤（内服薬に属する。） 非採用 本体コード 表:EP~R~2.5 色 薄赤黄 同成分薬 D [®] ス [®] ス [®] 錠2.5mg【妊禁】【錠】	起床時 朝 昼 夕 就寝時 - 1 - - -	1日1錠	分1 朝食後 21日分
4		(非採)D[®]ス[®]ス[®]錠10mg 一般名 エゼチミブ錠 薬効薬理 降脂薬【小腸コレステロール吸収阻害剤】 M122薬分類 降脂薬 非採用 本体コード 表:EZ10 色 白 同成分薬 D [®] ス [®] ス [®] 錠 10mg(先:ゼチミブ)【錠】	起床時 朝 昼 夕 就寝時 - 1 - - -	1日1錠	分1 朝食後 21日分

三田市民病院

持参薬鑑別（外来）

外来でも安全に検査・治療が
できるよう確認しています



手術や内視鏡検査を予定されている外来患者の使用薬剤を確認

- ✓ 抗血小板薬・抗凝固薬
- ✓ 免疫抑制作用のある生物学的製剤
- ✓ 女性ホルモン製剤
- ✓ 糖尿病薬（ビグアナイド系・SGLT2阻害薬）など

外来お薬鑑別用紙			
患者ID	111111	鑑別目的	手術
患者氏名	三田太郎	作成日	1900年01月00日
生年月日	1900年01月00日	医師名	0
内服薬がない、または変更がない場合に記載		最終更新者	
		健康食品 サプリ等	
特記事項	伝達事項などあれば自由記載		
・ひらがなは使わない。 ・ハイフン、長音符（ー）は、ひらがな「ほ」の位置にある「ー」を使う。 ・テンキーの「-」マイナス記号は使わない。			
No.	休止該当薬	持参薬	特記事項 (HM入院では用法用量も記載する)
1	×	バイアスピリン	
2	×	エフィエント	
3		ロスバスタチン	
4		エゼチミブ	
5		トラゼンタ	
6	×	メトグルコ	
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

三田市民病院

注射業務

医師の処方せんに基づき、以下を行います。



- ① 処方監査（処方薬、投与量、投与速度、配合変化等に問題がないかを確認）
- ② 計数調剤（注射薬を正確に取りそろえる）
- ③ 調剤鑑査（調剤された内容に間違いがないか最終チェックを行う）



- ✓ 患者ごとに1日分を1BOXへセット
- ✓ 混合するバイアル・アンプルを輸液に付けて搬送

抗がん剤レジメンチェック

外来、入院とも安全に化学療法が
受けられるよう確認を行っています



あらかじめ登録されたレジメン情報と患者情報に基づき、
薬剤名、投与量、投与経路、投与時間、前投薬、検査値などをチェック

【抗がん剤ミキシング時の確認項目】

- ・処方オーダー時間の確認（電子カルテのオーダー照会より確認）
- ・投与間隔、前回の投与量 ・体温（入院ケモの場合、37.1℃以上で問い合わせ）
- ・血液検査（検査日の確認）

検査値	確認の目安 (Grade3)
白血球	< 2,000 / μ L
好中球 (NeutroまたはStab+Seg)	< 1,000 / μ L
血小板	< 50,000 / μ L
ヘモグロビン	< 8.0 g/dL
AST	> 100 IU/L
ALT	> 120 IU/L
T-Bil	> 2.5 mg/dL
CRE	> 2.0 mg/dL
Mg(アービタックス、ベクティックス投与時)	< 0.9 mg/dL

※Neutro, Stab, Segがコンマ(,)の場合はミキシング可能か医師へ確認

- ・尿たんばく（ペバシマブBS、サイラムザ、ザルトラップ）
尿蛋白定性（3+）以上、または
尿蛋白定性（2+）かつ尿蛋白クレアチニン比2.0以上の場合問い合わせ
- ・内服前投薬の処方
バクリタキセル、サイラムザ：アタラックスPカプセル
バベンチオ：レスタミン錠、カロナル錠
リツキサン（リツキシマブBS）：抗ヒスタミン薬、解熱鎮痛薬
- ・制吐薬の処方、処方日
アプレビタントカプセル(Day1-最大Day5)、ホスアプレビタント注(Day1のみ)
高度催吐リスクレジメン（シスプラチン、FOFOXIRI、FOLFIRINOXなど）
中等度催吐リスクレジメンにおいて前回処方されていた場合
デカドロン錠(Day2以降、処方された場合)
- ・内服抗がん剤の処方（併用レジメンの場合）
S-1、カベシタピン、ロンサーフ、ピラフトビ、メクトビ、
レンビマ、インライタなど

当院ホームページ

がん化学療法レジメン一覧

患者さんに安全、安心ながん治療を受けていただくために、当院の化学療法運営委員会で承認されているがん化学療法レジメンを公開しています。投与量、投与スケジュールは患者さんの体調、状態により変更される場合があります。

レジメンの内容に関する問い合わせは、当院薬剤科までお願いします。

MSI-High 固形癌.pdf



胃がん.pdf



食道がん.pdf



神経内分泌腫瘍.pdf



大腸がん.pdf



頭頸部がん.pdf



乳がん.pdf



泌尿器がん.pdf



婦人科がん.pdf



膵・胆道・肝がん.pdf



抗がん剤無菌調製

安全な環境下で、すべての医療従事者と患者さんの曝露にも配慮した無菌調製



閉鎖式システム



TPN無菌調製

院内感染防止に配慮して、高カロリー輸液を無菌室内のクリーンベンチで混合調製



がん化学療法患者の外来指導

がんの認定薬剤師が活躍しています！



対象患者：特定のレジメンで、がん化学療法を施行している患者

実施内容：治療内容、副作用及び副作用の対処法などについて説明

患者さんからの副作用情報の聞き取り

患者さんからの質問や相談への対応

他職種との情報共有

- 医師への処方提案
- 地域の保険薬局への情報提供



薬品管理

在庫管理

- 医薬品の品質・経済性を含めた管理
- 使用期限切れ薬剤、廃棄薬を減らす

高額な医薬品も増えており
慎重に管理しています



麻薬・毒薬・覚醒剤原料

- 厳重な保管
- 出納記録



特定生物由来製品

- 出納記録
- 管理簿：20年間の保管管理が義務



医薬品情報管理

専任の薬剤師が日々業務を行っています



医薬品情報の収集・保管・管理・情報提供

- 厚生労働省やPMDAから発出される適応追加・副作用情報・医薬品の回収情報
- 製薬会社から伝達される各種医薬品情報
- 医薬品に関する書籍・雑誌の整備
- 医薬品情報ニュースの発行



薬事委員会事務局

- 新規採用、採用中止、後発品への切り替えなどの検討
- 医薬品マスターの整備

病棟業務

- ✓ 医薬品の使用状況の把握
- ✓ 医療従事者からの相談応需
- ✓ 入院患者の服薬計画の提案
- ✓ 相互作用の確認
- ✓ ハイリスク薬の投与前の詳細な説明
- ✓ 薬剤流量の計算

各病棟に担当の薬剤師が配置されています



▶ 患者さんごとの適正
で安全な薬剤の使用



薬剤管理指導

- 入院患者さんの薬歴の確認と服薬指導を介して患者さんの薬物療法への認識を向上させます
- 患者さんから得られた情報を医師にフィードバックすることにより薬物療法を支援します
 - ✓ カルテ情報収集と患者面談
 - ✓ 服薬状況・副作用歴・アレルギー歴の確認
 - ✓ 使用薬剤の説明
 - ✓ 副作用の確認
 - ✓ 使用薬剤の評価
 - ✓ 医療従事者へのフィードバック



院内製剤

- 患者さんの病態やニーズに対応するために、医師の求めに応じて病院内で薬剤師により調製され、それぞれの病院内の患者さんに限って用いられる製剤のこと。
- 個々の患者さんに最適な薬剤を、最適な投与経路、剤形で投与するために、市販の医薬品では対応できない薬を調整しています。

例) SADBE液 (スクアレン酸アセトン液)

適応：びまん性脱毛、円形脱毛症、尋常性疣贅



製剤室で効率的かつ安全に調製することで、医療過誤や感染防止につながります

チーム医療

各チームにおいて薬剤師が
その専門性を発揮しています

◆ 抗菌薬適正使用支援チーム (AST)

◆ 感染制御チーム (ICT)

◆ 緩和ケアチーム (PCT)

◆ 栄養サポートチーム (NST)

◆ 認知症サポートチーム (DST)

◆ 褥瘡対策チーム (PUT)

◆ 術後疼痛管理チーム (APS)

◆ 心不全チーム

◆ 糖尿病チーム



認定薬剤師

チーム医療など、それぞれの認定を
活かした業務を行っています



- ◆ がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）
- ◆ NST専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）
- ◆ 外来がん治療認定薬剤師（日本臨床腫瘍薬学会）
- ◆ 心不全療養指導士（日本循環器学会）
- ◆ 緩和薬物療法認定薬剤師（日本緩和医療薬学会）
- ◆ 骨粗鬆症マネージャー（日本骨粗鬆症学会）
- ◆ 抗菌化学療法認定薬剤師（日本化学療法学会）
- ◆ 兵庫県糖尿病療養指導士（糖尿病療養指導士兵庫県連合会）
- ◆ 周術期管理チーム認定薬剤師（日本麻酔科学会）
- ◆ 医療情報技師（日本医療情報学会）
- ◆ 病院薬学認定薬剤師（日本病院薬剤師会）
- ◆ 認定実務実習指導薬剤師（日本薬剤師研修センター）

地域連携

薬薬連携の会はWebではなく対面で行い
顔の見える関係を築いています



- **外来・入院患者さんの情報交換を行っています。**
- ・ **保険薬局 → 当院：トレーシングレポート（服薬情報提供書）**
 - ・ **保険薬局 → 当院：がん化学療法情報提供書**
 - ・ **当院 → 保険薬局：薬剤管理サマリー**



- **三田市薬薬連携の会（三田市内の保険薬局と合同の会議・研修会）を隔月で行っています。**

三井物産株式会社 薬剤部 FAX: 076-886-0882

<注意> このFAXによる情報提供は、緊急連絡ではありません。
緊急時のお問い合わせは中野薬師会へ、緊急電話で薬剤科にご連絡ください。

トレーシングレポート（服薬情報提供書）

処方院： 科： 先生 附科下 報告日： 年 月 日

患者名： (印：)		保険薬局 名称・住所	
処方箋番号： ー			
患者からの照会 ☐ 持た ☐ 渡っていない		TEL: FAX:	
☐ 患者は処方院への報告を拒否していますが、 治療上必要と考えられたため報告いたします。		前当薬剤科： 印	

処方箋に基づき調剤し、薬剤科へ送付しました。

下記の通り、ご報告すべき点がございますので、ご高配頂きようお願い申し上げます。

分 類	☐ 継続の必要がない薬剤についての情報提供（ポリファーマシー）
	☐ 処方期間の適正使用に関する情報提供
	☐ 処方状況
	☐ 処方内容に際した留意事項 ☐ その他 ()

薬剤科からの情報提供・課業内容（※ 薬剤師の報告は下記の「留意」と「対応」を記入すること）

☐ 次頁に処方箋をFAXいたします。

○ 医師への提案

☐ (変更 off 中止) を提案します。

(薬名/課業内容)

※ その他 ()

[illegible][illegible]

お問い合わせ・病院見学

連絡先

三田市民・済生会病院

TEL : 079-565-8000 (代表)

総務課 和田

薬剤科 酒井

病院見学も随時歓迎です！

お待ちしております!!



いつでもお気軽にご相談ください!